

脱税事件から見た人の本質

～同友会で学び実践したこと～

報告者: **尾中税務会計事務所** 所長 **尾中 寿氏**

1. 原点は、子供の頃、母親の言い続けていた一言から人生はスタートしていた！
・『嘘をついたら、泥棒の始まりだぞ！』・・・『労使関係の本質』
2. 尾中税務会計事務所、行政書士事務所を開設 同友会に入会 (29歳)
・脱税依頼者多し、嘘をつく経営者多し、『うまいことをするのが税理士の仕事や！』
3. TKC全国会会長 飯塚 毅先生との出会い (開業1年目 30歳)
・『飯塚事件』で税務署、国税局、国税庁に対し『租税正義』を貫く姿勢に感動
4. 初めての税務調査が国税局 なんと1億円の脱税事件！ (開業2年目 31歳)
“みんな税理士さんの言う通りにしています？”・・・『経営者の責任と不正』
5. 同友会 経営理念 経営指針作成 (開業2年目 31歳)
『品質で超一流事務所を目指す』ことを意識・・・『存在価値とビジョンの明確化』
6. 一番お世話になり、一番顧問料高い顧問先の社長から『粉飾』を頼まれ決断！
職員が所長本気だ！と思い始め品質上がる・・・『正義とは』 (開業6年目 35歳)
7. 事務所 内乱事件 (開業10年目 39歳)
・社員 全員退職願・・・解約通知の連続・・・『信頼関係』
・『問題は外にあるのではなくすべて内にあり！』 『原因はすべて我にあり！』
・『担雪埋井』・・・ムダと解かっているでも社員教育はやり続けなければならない！
8. 人を生かす経営の具体化
新年会 初めて、誕生日に社員がケーキを！ (開業15年目 44歳)
・『ある社員が、この事務所に來れたことを幸せに思います！』・・・『経営者の幸せ』
・毎日の朝礼、委員会制度、ありがとうカード、規律の徹底、インフォーマルな付き合い、
・誕生日花のプレゼント、ほめ達、週2点改善運動等
9. 同友会から学んだこと
・支部長時代の教訓・・・『信頼して任せる』
・実践しない知識はなんの役にも立たない！・・・『実践力』 ISO、エコアクション21